

京都府立医科大学附属病院で診察を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

高次脳機能障害のある人の社会的行動障害に関する研究へのご協力のお願い

今回、京都府立医科大学は、高次脳機能障害に関する研究「高次脳機能障害者の社会的行動障害による社会参加困難への対応に関する研究」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で診察を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

事故や病気により高次脳機能障害と診断された方の中には、暴言や暴行、抑制がきかないなどの後遺障害が見られることがあります。その対応に困っているご家族や身近な支援者の方に、調査にご協力をお願いする次第です。この調査結果に基づき、必要な対策を提言します。

研究の方法

- ・高次脳機能障害のある方のご家族または支援者

平成19年4月1日から平成30年12月31日までの間に、京都府立医科大学神経内科で診察を受けられた患者さんのご家族または支援者が対象となります。

- ・方法について

あらかじめ準備した質問票（NP I）にしたがい、調査員がお伺いします。質問は12問で、おおよそ30分程度かかります。途中で休憩が必要な場合はいつでも中断、あるいは中止します。調査結果が研究以外の目的で使用されることはありません。また、情報として、診療録等から年齢・性別・病歴・薬物療法・リハビリテーションの内容、神経心理学的検査等のデータを使用しますので、ご了解ください。

- ・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、平成31年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出くだ

さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、個人情報保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

(研究責任者)

京都府立医科大学神経内科 学内講師

武澤信夫

(共同研究機関)

国立障害者リハビリテーションセンター 学院長

中島八十

京都大学医学部精神科神経科 助教

上田敬太

大阪府立急性期総合医療センターリハビリテーション科 主任部長

辻野精一

社会福祉法人グロー滋賀県立障害者総合診療所 所長

島田司巳

連絡先

京都府立医科大学神経内科

職・氏名：学内講師 武澤信夫

電話：075-251-5388